

## II

# 専門科シニアレジデントコース：皮膚科



## ○皮膚科の概要

### 1. 皮膚科の特徴

選択コースにおいて皮膚疾患の病態、治療について研修し、さらに専修医コースでは皮膚疾患に対する理解を深め、治療についてさまざまな観点よりその適応、有効性について検討し研修を行う。

悪性腫瘍、重症感染症（壊死性筋膜炎）や全身性疾患（薬疹、細菌感染症）の各種検査、全身管理を含めての治療などを研修する。外来手術室では皮膚腫瘍性疾患に対する外科的手技を外来、入院手術が多数行われており、センチネルリンパ節生検、腫瘍切除術、植皮術などの皮膚外科的手技について研修を行う。皮膚病理組織診断学についてさらに理解を深める。母斑症、乾癬に対するレーザー療法（Q-スイッチルビーレーザー、ダイレーザー）、光線療法（NBUVB、PUVA療法）では、治療効果についてさらに研修を行う。これらの症例を学会、論文で発表する。国際医療センターでの研修については希望によって研修プログラムを作成して検討する。

### 2. 診療実績

主要疾患別の入院患者数（新規および再入院）

皮膚悪性腫瘍	悪性黒色腫	8	膠原病	
	有棘細胞癌	18	結節性動脈周囲炎	4
	基底細胞癌	14	薬疹・中毒疹	15
	皮膚附属器癌	2	アトピー性皮膚炎、膿痂疹	5
	Paget 病	2	膿疱性乾癬・乾癬	6
	Bowen 病	5	感染症	
	悪性リンパ腫	2	カボジ水痘様発疹症	5
水疱症	尋常性天疱瘡	6	蜂窩織炎	16
	水疱性類天疱瘡	10	壊死性筋膜炎・壊疽	10
	その他の水疱症	2	帯状疱疹	5
膠原病	SLE	3	水痘	2
	皮膚筋炎	7	麻疹	2
皮膚良性腫瘍	脂肪腫，粉瘤等	35	熱傷	4
			皮膚潰瘍	12
			その他	31

### 3. 診療スタッフ

土田 哲也（教授）：膠原病、皮膚腫瘍

倉持 朗（教授）：母斑・母斑症、血管腫・脈管形成異常、腫瘍

中村晃一郎（教授）：乾癬、アレルギー性皮膚疾患

ほか、助教 11 名

### 4. プログラムの目的と特徴

当科は有棘細胞癌、悪性黒色腫をはじめとする悪性腫瘍、SLEをはじめとする膠原病、アトピー性皮膚炎・薬疹などのアレルギー疾患、乾癬などの炎症性角化症、自己免疫性水疱症、母斑、母斑症に至るまで内科的、

外科的な幅広い領域において豊富な専門知識を駆使して、診断、治療にあたっている。原因物質の解明、その除去などを行い、治療成績の向上に努めている。重症薬疹などに関して、全身療法などを行い良好な治療成績をあげている。糖尿病性壊疽、壊死性筋膜炎などの重症感染症も多く、全身管理、外科的治療などを多数行い、植皮術においても、高い生着率を実現している。レーザー治療ではQスイッチルビーレーザー、色素レーザーなど充実している。教育面では、病理部と合同で行われる病理組織検討会や教授みずから行うランチョンレクチャー・病理組織勉強会が隔週で行われ、基礎から専門知識の習得も充実している。その他指導医、上級医師によるクルズスも定期的に行っている。

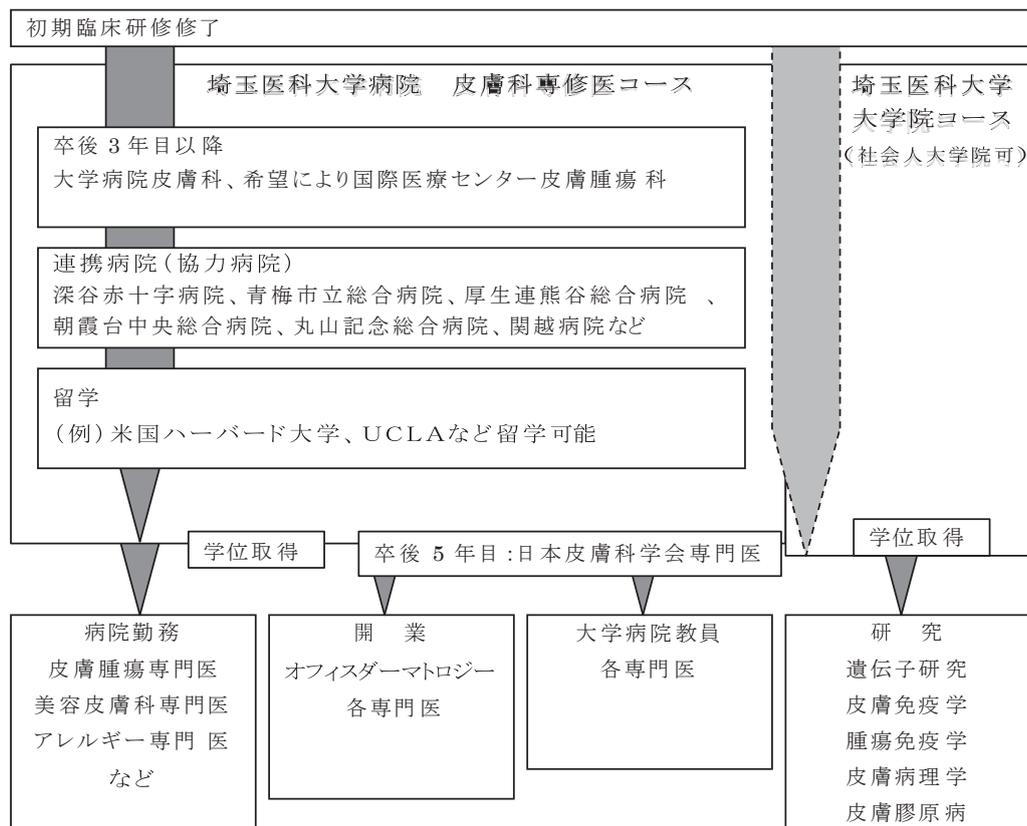
## 5. 取得可能な資格

皮膚科学会に入会5年目で、所定の講習会の参加、規定数の学会発表、論文発表を終了すると、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医の取得のための受験資格が得られる。

皮膚科学会専門医取得3年目より、所定の講習会の参加、学会発表、必要と摺る症例数の治療経験を得ると、アレルギー学会専門医取得のための受験資格が得られる。

その他、皮膚専門医取得後に皮膚腫瘍専門医、皮膚美容学会専門医取得の受験資格が得られる。

## 6. キャリアデザイン



## 7. 連絡先 : 皮膚科

担当者名 宮野恭平

TEL : 049-276-1247

E-mail : hifugaku@saitama-med.ac.jp